令和　元　年度

第5次総合振興計画**事務事業評価シート（様式1）**

提出日	令和元年　6月21日
担当 課名	子育て支援課
担当 グループ名	子育て支援グループ
担当 記入者名	

1　事業概要

(1)事業名	子育て世帯電動自転車利用支援事業費	(2)事業種別（新規・継続）	継続	(3)事業性格（政策・一般）	一般事業

(4)第5次総振での位置づけ		(5)予算・財源等の別	
①基本目標	保健・医療・福祉の充実	①会計区分	一般会計
②大項目	子ども・子育て支援	②財源区分	町単独
③中項目	子育てしやすい環境づくり	③予算科目	款 3 項 2 目 1
④施策	子育ての経済的負担の軽減	④予算事業名	子育て世帯電動自転車利用支援事業費
⑤施策コード	5・3・3・1　掲載ページ 116 ページ		
(6)実施根拠		(7)総合戦略	
①事務分類（自治・受託）	自治事務	①総合戦略（該当事業名）	子育て世帯電動自転車利用支援事業
②根拠法令	小川町3人乗り自転車貸出事業実施要綱		
③事業期間	開始 平成28 年 9 月から	終了	未定 年 月まで

2　事業の目的・対象及び内容

(1)目的（何のために行うか）	(3)手段（内容・どのような取り組みか）
子ども子育て支援の充実	電動アシスト（駆動補助機）付の幼児2人同乗用自転車を最長36か月貸し出す。利用者は利用料金として、1か月当たり1,000円を支払う。
(2)対象（誰に対して、何に対して行うか）	(4)成果イメージ（どのような状態になることを目指すか）
次のいずれにも該当する者。町内に住所を有し、かつ居住している者で年齢が満16歳以上である者。利用開始日に満1歳以上6歳未満の幼児を2人以上養育している者。3人乗り自転車の保管場所を確保でき、安全かつ適正に 対象数 8 単位 台数	複数の幼児を養育する子育て世帯への外出促進と経済的な負担の軽減。

(5)事業を取り巻く環境（社会環境、町民ニーズ等）、団体、議会等からの要望など

移動手段が無い子育て世帯への支援事業である。

3　事業のコスト（実績・予算・決算）　（単位：千円）

項目＼(1)事業(内容)名	子育て世帯電動自転車利用支援事業費				
決算・予算年度	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算
(2)事業費内訳 備品購入費	0	600	470	160	0
報償費	0	0	0	0	0
需用費	0	0	0	3	50
役務費	0	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
直接事業費合計	0	600	470	163	50
(3)財源内訳 国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源	0	600	470	163	50
合　計	0	600	470	163	50
(4)補助金名					
(5)人件費					
投入職員数	0	0.2	0.2	0.2	0.2
年間人件費	0	1,611	1,550	1,593	1,567
(6) 総 事 業 費	0	2,211	2,020	1,756	1,617
サービス量（件）	0	4	7	8	8
サービス単価	#DIV/0!	552.7	288.6	219.5	202.1
（単位）	千円／1台当たり				

4 指標の検証（活動指標・成果指標）

子育て世帯電動自転車利用支援事業費

指標名		単位	29年度決算	30年度決算	元年度予算積算
（1）活動指標（実施した事業の量：回数、延長、面積等）					
指標名	購入台数	目標値	台	2	1	0
		実績値	台	2	1	
		達成率	%	100.0	100.0	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
（2）成果指標（実施した結果として得られた成果の量と達成度：人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等）					
指標名	貸出率	目標値	台	7	8	8
		実績値	台	7	6	
		達成率	%	100.0	75.0	
		目標値				
		実績値				
		達成率				

（3）その他指標に現れない成果

5 事業評価

（1）項目別評価

評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他（移動手段を持たない子育て世帯に必要　）
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他（　）
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力（企業、NPO、ボランティアなど）を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他（　）
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他（　）
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他（　）
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他（経済的負担軽減になっている　）
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他（　）

（2）総合評価（上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。）

広報・HP・イベント等で周知してく。

6 事業の方向性の判断

1 拡充　2 現状維持　3 縮小・統廃合

評価主体	（1）一次評価（担当課長）	（2）二次評価（政策推進課長）	（3）最終評価（町長）
評価	2		
説明	利用者アンケート結果で好評。経済的困窮者の移動手段として重要であり、児童虐待の予防にも寄与している		